

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

〔 取組 1 〕 医師・歯科医師を対象とした事業
(1) 横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成
臨床医学教育・研究領域

整理番号	6
------	---

申請担当大学名 (連携大学名)	琉球大学
事業名	臨床研究マネジメント人材育成
事業責任者	大学院医学研究科 臨床薬理学講座 教授 植田 真一郎

事業の概要

【目的】臨床的疑問を臨床研究で解決できる医師、他職種連携をベースに医療機関全体の研究マネジメントによる研究の質（被験者保護と信頼性）の担保が可能な医師と医療従事者を育成し、医療の質の向上のために、医療機関の研究環境を整え、研究者を支援し、被験者を守りつつ信頼性の高い結果を生み出すことを目的とする。

【取組内容】臨床研究マネジメント人材の養成を目的とした臨床研究教育管理学講座を設置し、新たな大学院コース「臨床研究教育管理学」と後期研修医を対象とした2年間の臨床研究インテンシブフェローシップコースを開講する。琉球大学を中心に県内外の医療機関が連携して、総方向の人材支援体制を確立するため、附属病院には臨床研究教育管理センターを開設し、県内の医療機関で臨床研究に従事する大学院生、フェローシップ受講生への継続的なメンタリング、研究支援と研究の質の管理を行う。

推進委員会からの主なコメント : 優れた点等、 : 充実を要する点等

「地域医療の問題解決へのイノベーションに担い手は、地域医療に携わる医師と他の医療従事者である」という考え方は斬新である。

医療機関全体の臨床研究マネジメント力の向上による研究の質担保を目的に、「臨床研究管理学」及び「臨床研究インテンシブフェローシップ」大学院コースの設置、附属病院臨床研究教育管理センターの設置等、研究の全体構想も優れている。

外部評価委員の選任も適切で、臨床研究倫理への取り組みも評価できる。

臨床研究専門のプログラムを設定し、明確なゴールを示していることは評価できる。

我が国の医療・医学の国際競争力を高めるためにも優れた臨床研究の推進は極めて重要であるが、世界的レベルでは実績、実施体制、そして何より教育システムにおいて不十分なのが現状である。したがって、臨床研究を担う医療人材養成は医学教育の喫緊の課題であり、「臨床研究マネジメント人材」の養成はその解決につながり、本事業の目的にかなっている。

我が国の臨床教育において重視されてこなかった「臨床研究スキル」、「研究マネジメント能力」の修得を目指した教育プログラムが構想されており、その新規性は評価される。

インテンシブフェローシップコースの対象となる後期研修医は各領域の専門研修に時間を要すること、年齢・経験も異なることから、その実効性を高めるためには、特定研究テーマや対象となる学修者の選択と集中について検討することが望ましい。

プログラムの取組内容・事項は列挙されているが、スケジュール(年次予定)が未記入であり、今後事業計画は十分に練ることが求められる。

本事業では地域医療機関(沖縄県の県立病院)との連携を中心としているが、我が国の臨床研究の実態を考えると、臨床研究をリードし、実績を有する先進的の大学病院(臨床研究中核病院など)との連携により、「臨床研究」教育システムを確立した上で、地域病院に拡大する方が実効性を高められるのではないかと。

本プログラムを通じて養成される目標人物像とその具体的キャリアプランを明確に示すことにより、本プログラム参加者のモチベーションや教育効果の向上にもつながることから、プログラムの更なる充実が望まれる。